

聖書にふれる

はじめのはじめ



日本聖公会 奈良基督教会

司祭 ヨハネ 井田 泉

光 ひかり

初めに、神は天地を創造された。

地は混沌^{こんとん}であって、闇が深淵の面^{おもて}にあり、神の霊が水の面^{おもて}を動いていた。

神は言われた。

「光あれ。」

こうして、光があった。

創世記 1:1-3

聖書は神の行動を伝えます。

神は言葉を発せられます。

「光あれ」

するとそこに光が輝きました。

わたしたちの闇と混沌の現実に向かって

神は

「光あれ」

と呼びかけ、光を造りだしてくださいます。

土 つち

水が地下から湧き出て、土の^{おもて}面をすべて^{うるお}潤した。

主なる神は、土（アダマ）の塵で人（アダム）を形づくり、その鼻に命の息を吹き入れられた。人はこうして生きる者となった。

創世記 2:6-7

神はこのわたしを土から造られました。

土の塵、それははかないもの、弱いもの、吹き去られるものです。

しかし土は命をはぐくみます。

神はわたしの中にご自身の命の息を吹き込まれました。

弱いものでできたわたしの中に

神の命の息が吹き込まれています。

このことを知るとき、わたしたちは謙遜にされ、同時に自分を尊ぶことを知ります。

火 ひ

そのとき、柴の間に燃え上がっている炎の中に主の御使^{みつか}いが現れた。彼が見ると、見よ、柴は火に燃えているのに、柴は燃え尽きない。

モーセは言った。

「道をそれて、この不思議な光景を見届けよう。どうしてあの柴は燃え尽きないのだろう。」

出エジプト記 3:2-3

モーセは神をよく知りませんでした。しかし神を求めていました。

神との出会いは、不思議な光景を見届けようとするところから始まりました。

モーセが近づいたとき、神がモーセに呼びかけられます。

燃えて燃え尽きない火。

それは神の尽きることのない愛を示しています。

木 き

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
人がわたしにつながっており、わたしもその人につなが
っていれば、その人は豊かに実を結ぶ。

ヨハネによる福音書 15:5

枝に確かさがあるのではなく、木に確かさ
があります。

わたしは危うくても、イエスがわたしを支
え、命を強めてくださいます。

イエスがわたしたちを招き、わたしたちを
育み、成長させてくださいます。

ご自分を示して

「わたし」

と言われるイエスを見つめましょう。

イエスはわたしたちをとおして、
何かを实らせようとしておられます。

水 みず

イエスは言われた。

「わたしが与える水を飲む者は決して渴かない。わたしが与える水はその人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわき出る。」

ヨハネによる福音書 4:14

イエスはわたしたちに不思議な水をくださいます。

ただ教えるというのではなく、命の水をくださるのです。

わたしの中に与えられた命の水は

わたしをうるおし

やがてわたしから溢れ出て

人をもうるおすようになります。

わたしの中に命の泉が開かれたからです。

風 かぜ

五旬祭の日が来て、一同が一つになって集まっていると、突然、激しい風が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた。

そして、炎のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。

すると、一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、ほかの国々の言葉で話した。

使徒言行録 2:1-4

美しい音が天から聞こえます。音とともに神からの風がわたしの中に入ります。

窒息しかけていたわたしたちは息を吹き返します。その風は神の息だったのです。

神の愛の火がわたしたちの中に入り、わたしたちの内に燃えます。

わたしたちは温かくされ、熱くされ、勇気を与えられて、動きはじめます。

聖書

かつて書かれた事柄は、すべてわたしたちを教え導くためのものです。それでわたしたちは、聖書から忍耐と慰めを学んで希望を持ち続けることができます。

ローマの信徒への手紙 15:4

聖書は
わたしたちを
愛の神、命の神に導きます。

神はわたしたちをとおして働き
世界に
正義と平和と信頼を広げていかれます。

2015/10/25